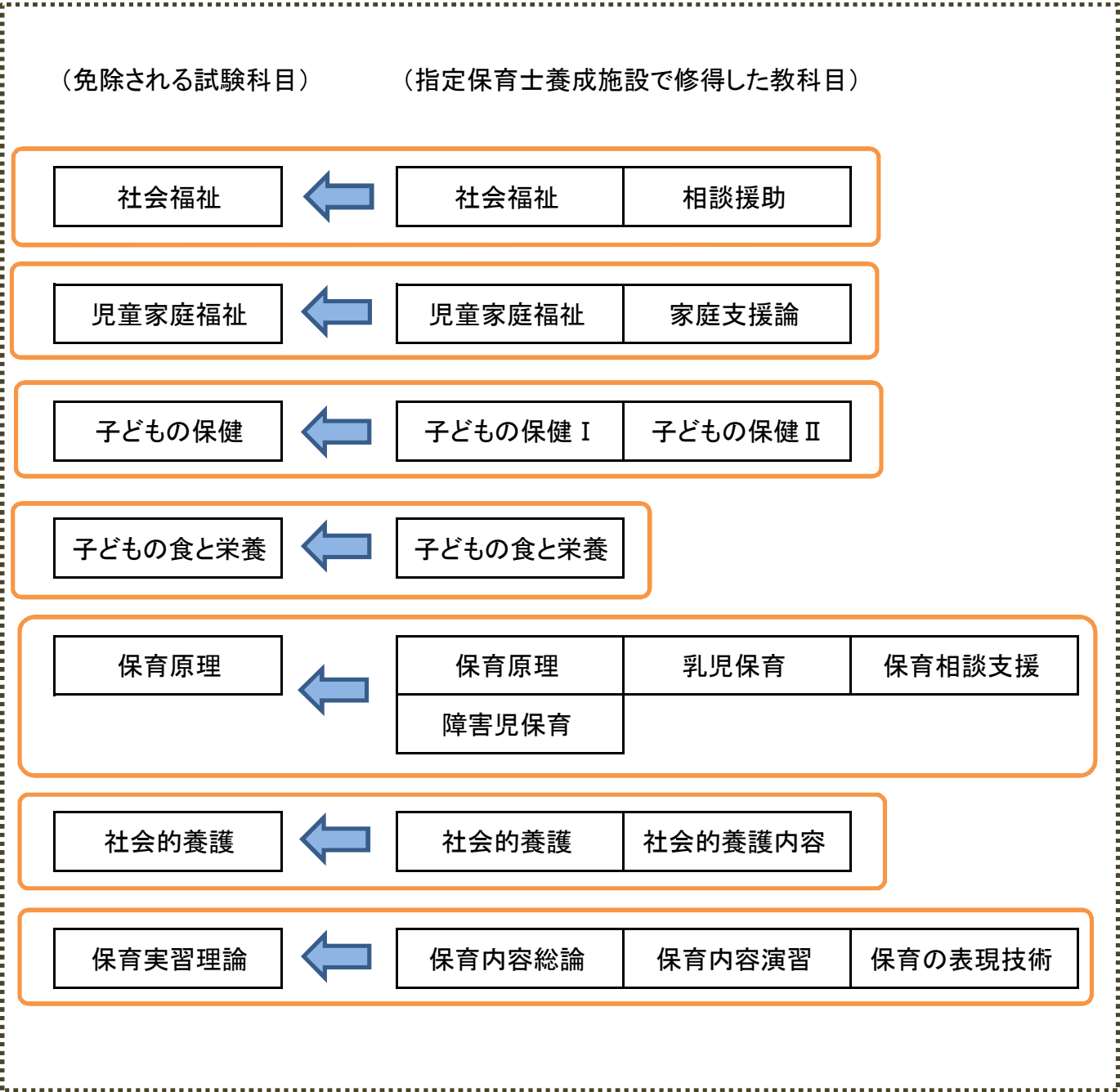


保育士試験の試験科目と試験科目免除に必要な履修科目

1. 試験科目と履修科目の一覧



## 2. 試験科目と履修科目(各科目の内容)

	試験科目	試験科目免除に必要な履修科目		備考
		科目名	科目の内容	
1	社会福祉	1-1 社会福祉	1 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷 (1) 社会福祉の理念と概念 (2) 社会福祉の歴史の変遷 2 社会福祉と児童家庭福祉 (1) 社会福祉の一分野としての児童家庭福祉 (2) 児童の人権擁護と社会福祉 (3) 家庭支援と社会福祉 3 社会福祉の制度と実施体系 (1) 社会福祉の制度と法体系 (2) 社会福祉行財政と実施機関 (3) 社会福祉施設等 (4) 社会福祉の専門職・実施者 (5) 社会保障及び関連制度の概要 4 社会福祉における相談援助 (1) 相談援助の意義と原則 (2) 相談援助の方法と技術 5 社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み (1) 情報提供と第三者評価 (2) 利用者の権利擁護と苦情解決 6 社会福祉の動向と課題 (1) 少子高齢化社会への対応 (2) 在宅福祉・地域福祉の推進 (3) 保育・教育・療育・保健・医療等との連携とネットワーク (4) 諸外国の動向	
		1-2 相談援助	1. 相談援助の概要 (1) 相談援助の理論 (2) 相談援助の意義 (3) 相談援助の機能 (4) 相談援助とソーシャルワーク (5) 保育とソーシャルワーク 2. 相談援助の方法と技術 (1) 相談援助の対象 (2) 相談援助の過程 (3) 相談援助の技術・アプローチ 3. 相談援助の具体的展開 (1) 計画・記録・評価 (2) 関係機関との協働 (3) 多様な専門職との連携 (4) 社会資源の活用、調整、開発 4. 事例分析 (1) 虐待の予防と対応等の事例分析 (2) 障害のある子どもとその保護者への支援等の事例分析 (3) ロールプレイ、フィールドワーク等による事例分析	

## 2. 試験科目と履修科目(各科目の内容)

試験科目	試験科目免除に必要な履修科目		備考
	科目名	科目の内容	
2 社会的養護	2-1 社会的養護	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 社会的養護の理念と概念</li> <li>(2) 社会的養護の歴史の変遷</li> </ul> </li> <li>2 社会的養護と児童家庭福祉               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童家庭福祉の一分野としての社会的養護</li> <li>(2) 児童の権利擁護と社会的養護</li> </ul> </li> <li>3 社会的養護の制度と実施体系               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 社会的養護の制度と法体系</li> <li>(2) 社会的養護の仕組みと実施体系</li> <li>(3) 家庭的養護と施設養護</li> <li>(4) 社会的養護の専門職・実施者</li> </ul> </li> <li>4 施設養護の実際               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設養護の基本原則</li> <li>(2) 施設養護の実際—日常生活支援、治療的支援、自己実現・自立支援等—</li> <li>(3) 施設養護とソーシャルワーク</li> </ul> </li> <li>5 社会的養護の現状と課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設等の運営管理</li> <li>(2) 倫理の確立</li> <li>(3) 被措置児童等の虐待防止</li> <li>(4) 社会的養護と地域福祉</li> </ul> </li> </ul>	
	2-2 社会的養護内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 社会的養護における児童の権利擁護と保育士等の倫理及び責務               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 児童の権利擁護</li> <li>(2) 保育士等の倫理及び責務</li> </ul> </li> <li>2. 社会的養護の実施体系               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設養護の特性及び実際</li> <li>(2) 里親制度の特性及び実際</li> </ul> </li> <li>3. 支援の計画と内容及び事例分析               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 個別支援計画の作成</li> <li>(2) 日常生活支援に関する事例分析</li> <li>(3) 治療的支援に関する事例分析</li> <li>(4) 自立支援に関する事例分析</li> <li>(5) 記録及び自己評価</li> </ul> </li> <li>4. 社会的養護にかかわる専門的技術               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育士の専門性にかかわる知識・技術とその応用</li> <li>(2) ソーシャルワークにかかわる知識・技術とその応用</li> </ul> </li> <li>5. 今後の課題と展望               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 施設の小規模化と地域とのかかわり</li> <li>(2) 社会的養護の課題と展望</li> </ul> </li> </ul>	

## 2. 試験科目と履修科目(各科目の内容)

試験科目	試験科目免除に必要な履修科目		備考
	科目名	科目の内容	
3 児童家庭福祉	3-1 児童家庭福祉	1 現代社会における児童家庭福祉の意義と歴史の変遷 (1) 児童家庭福祉の理念と概念 (2) 児童家庭福祉の歴史の変遷 (3) 現代社会と児童家庭福祉 2 児童家庭福祉と保育 (1) 児童家庭福祉の一分野としての保育 (2) 児童の人権擁護と児童家庭福祉 3 児童家庭福祉の制度と実施体系 (1) 児童家庭福祉の制度と法体系 (2) 児童家庭福祉行財政と実施機関 (3) 児童福祉施設等 (4) 児童家庭福祉の専門職・実施者 4 児童家庭福祉の現状と課題 (1) 少子化と子育て支援サービス (2) 母子保健と児童の健全育成 (3) 多様な保育ニーズへの対応 (4) 児童虐待防止・ドメスティックバイオレンス (5) 社会的養護 (6) 障害のある児童への対応 (7) 少年非行等への対応 5 児童家庭福祉の動向と展望 (1) 次世代育成支援と児童家庭福祉の推進 (2) 保育・教育・療育・保健・医療等との連携とネットワーク (3) 諸外国の動向	
	3-2 家庭支援論	1. 家庭支援の意義と役割 (1) 家庭の意義と機能 (2) 家庭支援の必要性 (3) 保育士等が行う家庭支援の原理 2. 家庭生活を取り巻く社会的状況 (1) 現代の家庭における人間関係 (2) 地域社会の変容と家庭支援 (3) 男女共同参画社会とワークライフバランス 3. 子育て家庭の支援体制 (1) 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 (2) 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 4. 多様な支援の展開と関係機関との連携 (1) 子育て支援サービスの概要 (2) 保育所入所児童の家庭への支援 (3) 地域の子育て家庭への支援 (4) 要保護児童及びその家庭に対する支援 (5) 子育て支援における関係機関との連携 (6) 子育て支援サービスの課題	

## 2. 試験科目と履修科目(各科目の内容)

試験科目	試験科目免除に必要な履修科目		備考
	科目名	科目の内容	
4 子どもの保健	4-1 子どもの保健 I	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの健康と保健の意義               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的</li> <li>(2) 健康の概念と健康指標</li> <li>(3) 地域における保健活動と児童虐待防止</li> </ul> </li> <li>2 子どもの発育・発達と保健               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 生物としてのヒトの成り立ち</li> <li>(2) 身体発育と保健</li> <li>(3) 生理機能の発達と保健</li> <li>(4) 運動機能の発達と保健</li> <li>(5) 精神機能の発達と保健</li> </ul> </li> <li>3 子どもの疾病と保育               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの健康状態の把握と主な疾病の特徴</li> <li>(2) 子どもの疾病の予防と適切な対応</li> </ul> </li> <li>4 子どもの精神保健               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの生活環境と精神保健</li> <li>(2) 子どもの心の健康とその課題</li> </ul> </li> <li>5 環境及び衛生管理並びに安全管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育環境整備と保健</li> <li>(2) 保育現場における衛生管理</li> <li>(3) 保育現場における事故防止及び安全対策並びに危機管理</li> </ul> </li> <li>6 健康及び安全の実施体制               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 職員間の連携と組織的取組</li> <li>(2) 母子保健対策と保育</li> <li>(3) 家庭・専門機関・地域との連携</li> </ul> </li> </ul>	
	4-2 子どもの保健 II	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 保健活動の計画及び評価               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保健計画の作成と活用</li> <li>(2) 保健活動の記録と自己評価</li> <li>(3) 子どもの保健に係る個別対応と子ども集団全体の健康と安全・衛生管理</li> </ul> </li> <li>2. 子どもの保健と環境               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保健における養護と教育の一体性</li> <li>(2) 子どもの健康増進と保育の環境</li> <li>(3) 子どもの生活習慣と心身の健康</li> <li>(4) 子どもの発達援助と保健活動</li> </ul> </li> <li>3. 子どもの疾病と適切な対応               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 体調不良や傷害が発生した場合の対応</li> <li>(2) 感染症の予防と対策</li> <li>(3) 個別的な配慮を必要とする子どもへの対応(慢性疾患、アレルギー性疾患等)</li> <li>(4) 乳児への適切な対応</li> <li>(5) 障害のある子どもへの適切な対応</li> </ul> </li> <li>4. 事故防止及び健康安全管理               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 事故防止及び健康安全管理に関する組織的取組</li> <li>(2) 救急処置及び救急蘇生法の習得</li> <li>(3) 保育における看護と応急処置</li> <li>(4) 災害への備えと危機管理</li> </ul> </li> <li>5. 心とからだの健康問題と地域保健活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの養育環境と心の健康問題</li> <li>(2) 心とからだの健康づくりと地域保健活動</li> </ul> </li> </ul>	

## 2. 試験科目と履修科目(各科目の内容)

試験科目	試験科目免除に必要な履修科目		備考
	科目名	科目の内容	
5 子どもの食と栄養	5-1 子どもの食と栄養	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 子どもの健康と食生活の意義               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)子どもの心身の健康と食生活</li> <li>(2)子どもの食生活の現状と課題</li> </ul> </li> <li>2 栄養に関する基本的知識               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)栄養の基本的概念と栄養素の種類と機能</li> <li>(2)食事摂取基準と献立作成・調理の基本</li> </ul> </li> <li>3 子どもの発育・発達と食生活               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)乳児期の授乳・離乳の意義と食生活</li> <li>(2)幼児期の心身の発達と食生活</li> <li>(3)学童期の心身の発達と食生活</li> <li>(4)生涯発達と食生活</li> </ul> </li> <li>4 食育の基本と内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)食育における養護と教育の一体性</li> <li>(2)食育の内容と計画及び評価</li> <li>(3)食育のための環境</li> <li>(4)地域の関係機関や職員間の連携</li> <li>(5)食生活指導及び食を通じた保護者への支援</li> </ul> </li> <li>5 家庭や児童福祉施設における食事と栄養               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)家庭における食事と栄養</li> <li>(2)児童福祉施設における食事と栄養</li> </ul> </li> <li>6 特別な配慮を要する子どもの食と栄養               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)疾病及び体調不良の子どもへの対応</li> <li>(2)食物アレルギーのある子どもへの対応</li> <li>(3)障害のある子どもへの対応</li> </ul> </li> </ul>	

## 2. 試験科目と履修科目(各科目の内容)

試験科目	試験科目免除に必要な履修科目		備考
	科目名	科目の内容	
6 保育原理	6-1 保育原理	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 保育の意義               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育の理念と概念</li> <li>(2) 児童の最善の利益を考慮した保育</li> <li>(3) 保護者との協働</li> <li>(4) 保育の社会的意義</li> <li>(5) 保育所保育と家庭的保育</li> <li>(6) 保育所保育指針の制度的位置づけ</li> </ul> </li> <li>2 保育所保育指針における保育の基本               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 養護と教育の一体性</li> <li>(2) 環境を通して行う保育</li> <li>(3) 発達過程に応じた保育</li> <li>(4) 保護者との緊密な連携</li> <li>(5) 倫理観に裏付けられた保育士の専門性</li> </ul> </li> <li>3 保育の目標と方法               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 現在を最もよく生き、望ましい未来をつくりだす力の基礎を培う</li> <li>(2) 生活と遊びを通して総合的に行う保育</li> <li>(3) 保育における個と集団への配慮</li> <li>(4) 計画・実践・記録・評価の連動</li> </ul> </li> <li>4 保育の思想と歴史の変遷               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 諸外国の保育の思想と歴史</li> <li>(2) 日本の保育の思想と歴史</li> </ul> </li> <li>5 保育の現状と課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 諸外国の保育の現状と課題</li> <li>(2) 日本の保育の現状と課題</li> </ul> </li> </ul>	
	6-2 乳児保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 乳児保育の理念と役割               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 乳児保育の理念と歴史の変遷</li> <li>(2) 乳児保育の役割と機能</li> </ul> </li> <li>2. 乳児保育の現状と課題               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育所における乳児保育</li> <li>(2) 乳児院における乳児保育</li> <li>(3) 家庭的保育等における乳児保育</li> <li>(4) 乳児や家庭を取り巻く環境と子育て支援の場</li> </ul> </li> <li>3. 3歳未満児の発達と保育内容               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 乳児保育における基本的な知識・技術に基づく援助や関わり</li> <li>(2) 6か月未満児の発達と保育内容</li> <li>(3) 6か月から1歳3か月未満児の発達と保育内容</li> <li>(4) 1歳3か月から2歳未満児の発達と保育内容</li> <li>(5) 2歳児の発達と保育内容</li> </ul> </li> <li>4. 乳児保育の実際               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育課程に基づく指導計画の作成と観察・記録及び自己評価</li> <li>(2) 個々の発達を促す生活と遊びの環境</li> <li>(3) 職員間の協働</li> </ul> </li> <li>5. 乳児保育における連携               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 保護者とのパートナーシップ</li> <li>(2) 保健・医療機関、家庭的保育、地域子育て支援等との連携</li> </ul> </li> </ul>	

## 2. 試験科目と履修科目(各科目の内容)

試験科目	試験科目免除に必要な履修科目		備考
	科目名	科目の内容	
6 保育原理	6-3 保育相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育相談支援の意義               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保護者に対する保育相談支援の意義</li> <li>(2) 保育の特性と保育士の専門性を生かした支援</li> </ol> </li> <li>2. 保育相談支援の基本               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの最善の利益と福祉の重視</li> <li>(2) 子どもの成長の喜びの共有</li> <li>(3) 保護者の養育力の向上に資する支援</li> <li>(4) 信頼関係を基本とした受容的かわり、自己決定、秘密保持の尊重</li> <li>(5) 地域の資源の活用と関係機関等との連携・協力</li> </ol> </li> <li>3. 保育相談支援の実際               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育に関する保護者に対する指導</li> <li>(2) 保護者支援の内容</li> <li>(3) 保護者支援の方法と技術</li> <li>(4) 保護者支援の計画、記録、評価、カンファレンス</li> </ol> </li> <li>4. 児童福祉施設における保育相談支援               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育所における保育相談支援の実際</li> <li>(2) 保育所における特別な対応を要する家庭への支援</li> <li>(3) 児童養護施設等要保護児童の家庭に対する支援</li> <li>(4) 障害児施設、母子生活支援施設等における保育相談支援</li> </ol> </li> </ol>	
	6-4 障害児保育	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障害児保育を支える理念               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「障害」の概念と障害児保育の歴史の変遷</li> <li>(2) 障害児保育の基本</li> </ol> </li> <li>2. 障害の理解と保育における発達の援助               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 肢体不自由児、視覚・聴覚障害児等の理解と援助</li> <li>(2) 知的障害児の理解と援助</li> <li>(3) 発達障害児の理解と援助①(ADHD—注意欠陥多動性障害、LD—学習障害等)</li> <li>(4) 発達障害児の理解と援助②(PDD—広汎性発達障害等)</li> </ol> </li> <li>3. 障害児保育の実際               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育課程に基づく指導計画の作成と記録及び評価</li> <li>(2) 個々の発達を促す生活や遊びの環境</li> <li>(3) 子ども同士のかかわりと育ち合い</li> <li>(4) 職員間の協働</li> </ol> </li> <li>4. 家庭及び関係機関との連携               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保護者や家族に対する理解と支援</li> <li>(2) 地域の専門機関等との連携及び個別の支援計画の作成</li> <li>(3) 小学校等との連携</li> </ol> </li> <li>5. 障害のある子どもの保育にかかわる現状と課題               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保健・医療における現状と課題</li> <li>(2) 福祉・教育における現状と課題</li> <li>(3) 支援の場の広がりにつながり</li> </ol> </li> </ol>	



2. 試験科目と履修科目(各科目の内容)

試験科目	試験科目免除に必要な履修科目		備考
	科目名	科目の内容	
7 保育実習理論	7-1 保育内容総論	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育の基本と保育内容               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 保育所保育指針に基づく保育の基本及び保育内容の理解</li> <li>(2) 保育の全体構造と保育内容</li> </ol> </li> <li>2. 保育内容の歴史の変遷</li> <li>3. 保育内容と子ども理解               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの発達の特性と保育内容</li> <li>(2) 個と集団の発達と保育内容</li> <li>(3) 保育における観察</li> <li>(4) 保育における記録</li> </ol> </li> <li>4. 保育の基本を踏まえた保育内容の展開               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 養護と教育が一体的に展開する保育</li> <li>(2) 環境を通して行う保育</li> <li>(3) 遊びによる総合的な保育</li> <li>(4) 生活や発達の連続性に考慮した保育</li> <li>(5) 家庭、地域、小学校との連携を踏まえた保育</li> </ol> </li> <li>5. 保育の多様な展開               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 乳児保育</li> <li>(2) 長時間の保育</li> <li>(3) 特別な支援を必要とする子どもの保育</li> <li>(4) 多文化共生の保育</li> </ol> </li> </ol>	
	7-2 保育内容演習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの生命の保持及び情緒の安定を図るために保育士等が行う援助やかかわりである「養護」               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 子どもの生理的欲求を満たし、子どもが健康、安全、かつ快適に過ごすための生活援助</li> <li>② 子どもを受容し、子どもが安心感と安定感をもって過ごすための援助やかかわり</li> </ol> </li> <li>2. 子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開されるための発達の援助である「教育(健康、人間関係、環境、言葉及び表現の5領域)」               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う「健康」の領域。</li> <li>② 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかかわる力を養う「人間関係」の領域。</li> <li>③ 周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持ってかかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う「環境」の領域。</li> <li>④ 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞くこととする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う「言葉」の領域。</li> <li>⑤ 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする「表現」の領域。</li> </ol> </li> </ol>	
	7-3 保育の表現技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体表現に関する知識や技術               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの発達と運動機能や身体表現に関する知識と技術</li> <li>(2) 見立てやごっこ遊び、劇遊び、運動遊び等に見る子どもの経験と保育の環境</li> <li>(3) 子どもの経験や様々な表現活動と身体表現とを結びつける遊びの展開</li> </ol> </li> <li>2. 音楽表現に関する知識や技術               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの発達と音楽表現に関する知識と技術</li> <li>(2) 身近な自然やものの音や音色、人の声や音楽等に親しむ経験と保育の環境</li> <li>(3) 子どもの経験や様々な表現活動と音楽表現とを結びつける遊びの展開</li> </ol> </li> <li>3. 造形表現に関する知識や技術               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの発達と造形表現に関する知識と技術</li> <li>(2) 身近な自然やものの色や形、感触やイメージ等に親しむ経験と保育の環境</li> <li>(3) 子どもの経験や様々な表現活動と造形表現とを結びつける遊びの展開</li> </ol> </li> <li>4. 言語表現等に関する知識や技術               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの発達と絵本、紙芝居、人形劇、ストーリーテリング等に関する知識と技術</li> <li>(2) 子ども自らが児童文化財等に親しむ経験と保育の環境</li> <li>(3) 子どもの経験や様々な表現活動と児童文化財等とを結びつける遊びの展開</li> </ol> </li> <li>5. 教材等の活用及び作成と保育の展開               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 様々な遊具や用具、素材や教材等の特性の理解と活用及び作成</li> <li>(2) 子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養うための環境構成と保育の展開</li> </ol> </li> </ol>	